

館山市の観光振興の現状

館山市経済観光部観光みなと課
令和 7 年 1 月 2 2 日

目 次

- 1 館山市の現状について
 - (1) 館山市の特徴
 - (2) 人口の推移
 - (3) 財政状況

- 2 観光施策の状況
 - (1) 基本方針
 - (2) 施策の展開
 - (3) 主な観光振興の取組
 - (4) 宿泊者数・観光入込客数

- 3 観光振興の課題
 - (1) 観光交流人口の経済効果
 - (2) 観光立国推進基本計画
 - (3) 観光振興の課題

1 館山市の現状について①

(1) 館山市の特徴

本市は千葉県房総半島の南端に位置し、東京から車でアクアラインを経由して約80分の距離となっている。西は波穏やかな館山湾、南は黒潮おどる太平洋に面し、内陸部には緑豊かな田園が広がり、冬でも花が咲き誇る温暖な気候に恵まれている。

34.3kmの変化に富んだ海岸線には、別名「鏡ヶ浦」とも呼ばれる館山湾から望む富士山や夕日の絶景、美しい砂浜が広がる平砂浦海岸など、数多くの景勝地が存在する。サンゴやウミホタルの生息域として、貴重な海洋生物資源を有しているほか、スキューバダイビングやSUP（スタンドアップパドルボード）などのマリンスポーツや夏の海水浴の適地としても知られている。

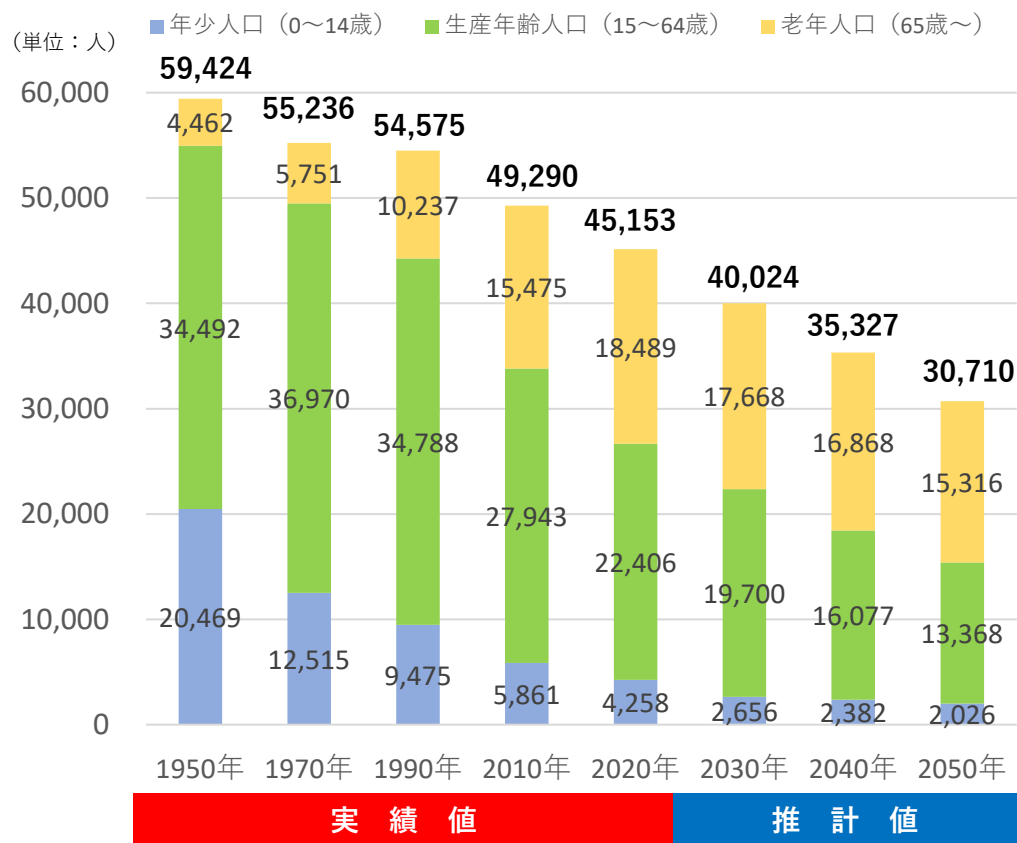
また、温暖な気候と恵まれた自然環境のもとで育てられた農産物や新鮮な魚介類など、食の豊かさは全国に誇れる地域資源である。



2 館山市の現状について②

(2) 人口の推移

館山市の人口推移及び将来推計



【出典】総務省「国勢調査」

【注記】2030年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値

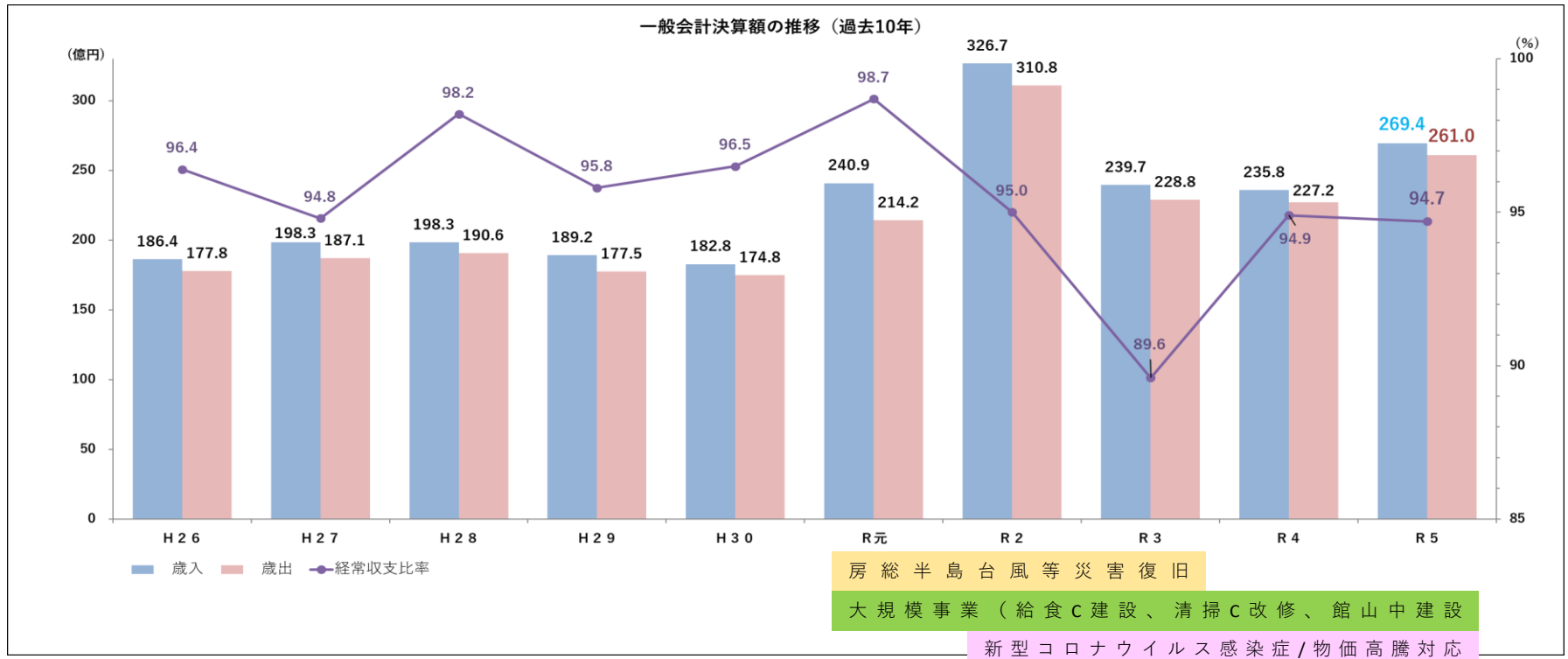
本市の人口は、1950年(昭和25年)の59,424人をピークに減少し、2020年(令和2年)では45,153人、2024年(令和6年)3月31日現在の住民基本台帳人口は、44,040人となっている。

30年後の2050年(令和32年)には、人口が約31,000人となり、現在より約13,000人、約30%の減少が見込まれ、生産年齢人口の減少に伴う市税収入の落ち込み、高齢化率の上昇による医療費や介護などの社会保障費の増加が予想され、市の財政への大きな影響が懸念される

1 館山市の現状について③

(3) 財政状況

① 決算額



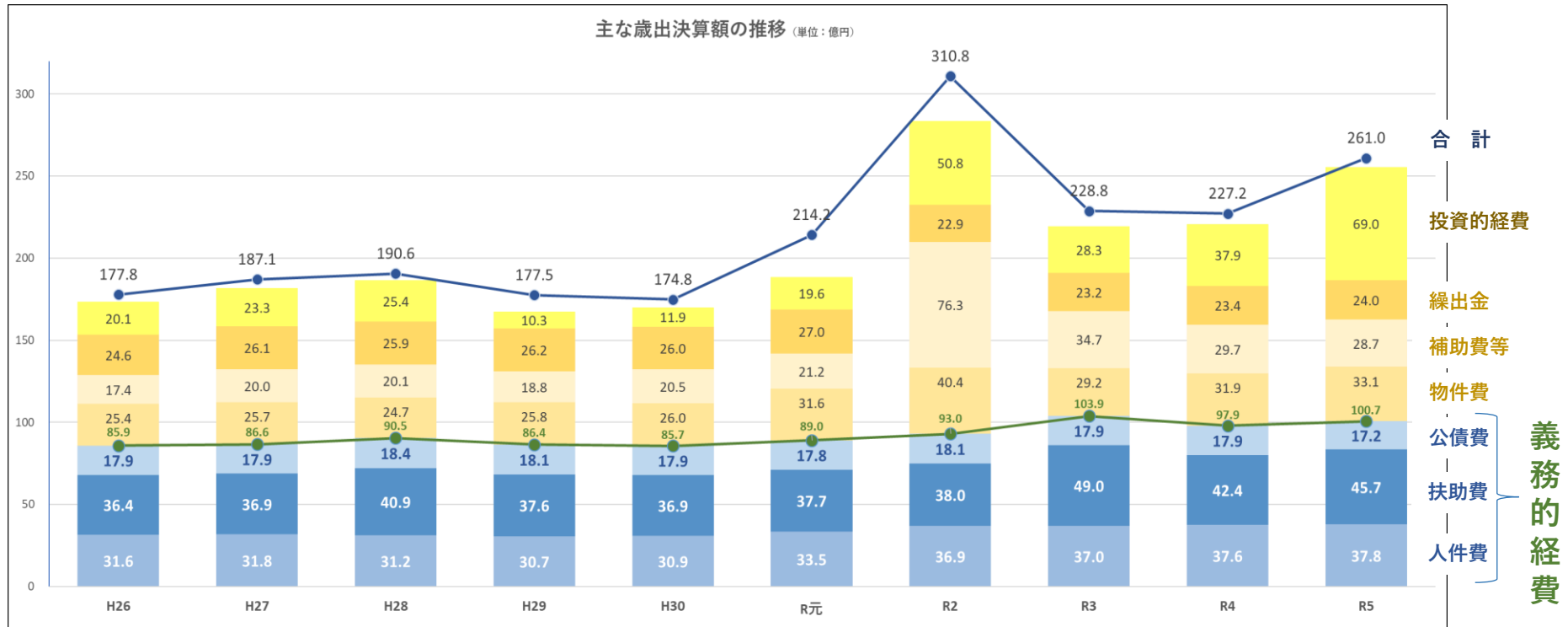
令和元年以降、災害、新型コロナ(物価高騰)対応、大規模事業の実施等により決算額は200億円を超えている。経常収支比率は今後も高い水準に位置する見込みである。（県内平均93.5% 37市中24位）

※経常収支比率・・・毎年度の経常的な収入(一般財源)が、経常的な支出(経常経費)にどの程度充てられているかを示す指標。財政構造の弾力性を表し、比率が低いほど財政に余裕がある。

1 館山市の現状について④

(3) 財政状況

②歳出



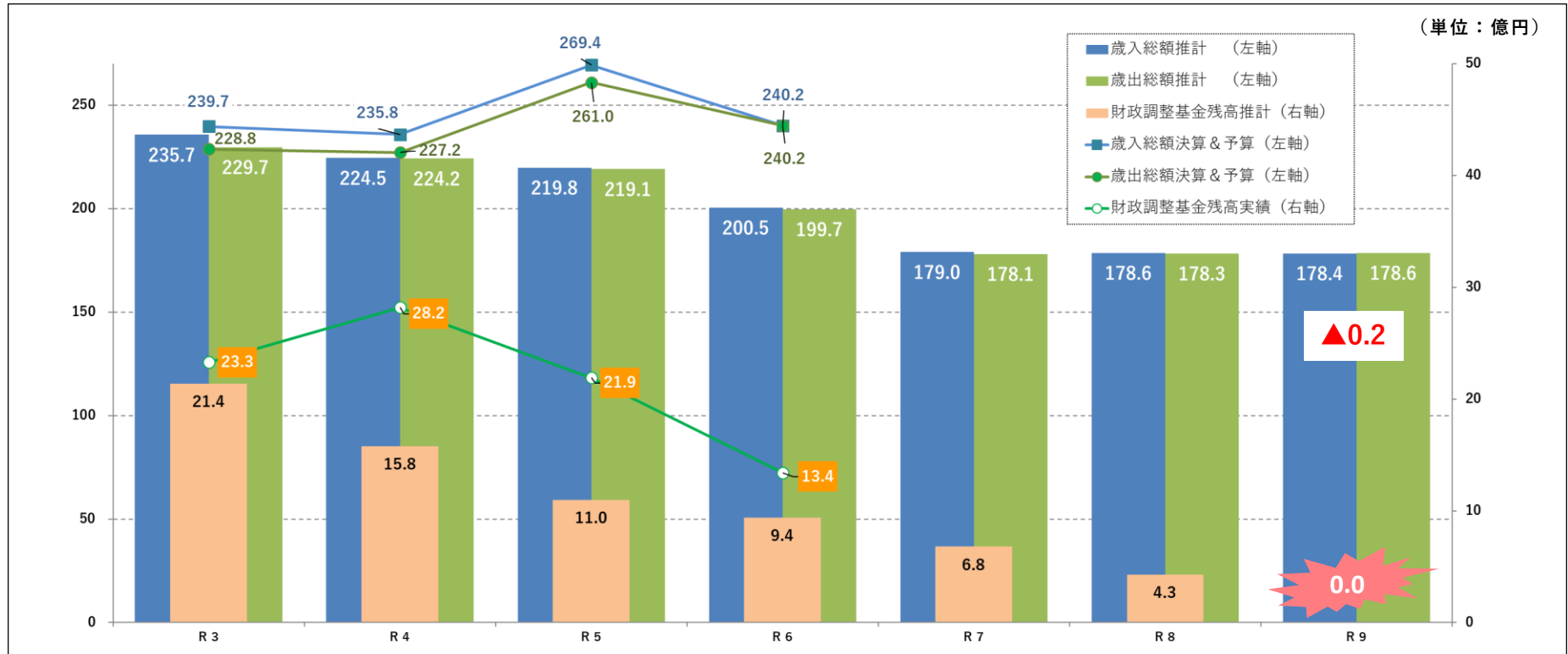
令和2年度は、令和元年房総半島台風災害の復旧事業と新型コロナ対策費により突出している。社会保障や福祉サービス、人件費などの義務的経費は増加傾向となっている。

1 館山市の現状について⑤

(3) 財政状況

③財政推計

※推計値：R4時点 実績値：R5決算額 R6予算額



財政調整基金の残高は、令和5年3月末時点で推計値よりもやや上回っているが、依然として厳しい財政状況となっている。

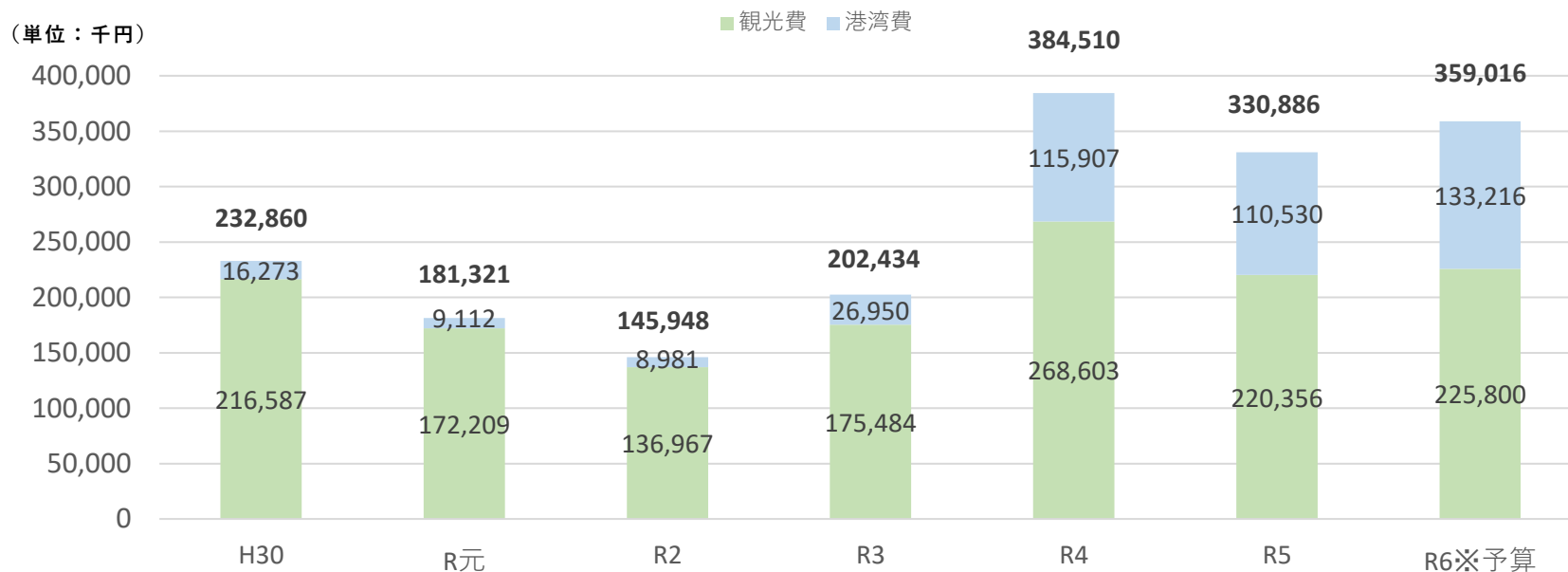
※現状維持の場合の試算であり、特段の歳入確保策、歳出削減策を講じないことを前提としており、実際の財政運営とは異なる。

1 館山市の現状について⑥

(3) 財政状況

④観光関連事業費

観光関連事業費の推移



観光費は、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大による各種イベントや事業の中止に伴い減少している。令和3年度から令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰による経済対策などで増加している。

令和6年度予算は房総半島台風・新型コロナウイルス拡大前の水準にほぼ戻っているが、人件費や原材料費などの高騰によりやや増加傾向である。

港湾費は、館山港多目的観光栈橋の先端部拡幅工事の実施に伴い、令和4年度から増加している。

2 館山市の観光施策の状況①

(第4次館山市総合計画「後期基本計画」)

(1) 基本方針

- 館山湾をはじめ、「“渚の駅”たてやま」、「館山夕日栈橋」等を活かした観光施策の充実を図り、来訪者の増加につなげます。
- 海水浴場の利用者が安心・安全に楽しめる海・浜空間の確保に努めます。
- リピーターや宿泊客の増加を目的として、市内の事業者や各種団体、近隣市町等の多様な主体と連携し、来訪者のニーズに対応した満足度の高い観光地を目指します。
- 外国人旅行客の受入態勢の促進を図ります。
- 農産物や海産物のブランド化を推進するとともに、様々な観光資源を組み合わせたP Rにより、観光地としての「館山ブランド」の魅力向上を図ります。
- 特色ある観光イベントの実施やパブリシティによる効果的・戦略的な情報発信により、館山市の知名度向上や交流人口の増加に努めます。

(2) 施策の展開

①海の魅力を活かした観光振興

『館山湾振興ビジョン』に基づく海辺のまちづくりの推進、海路の充実、海岸利活用事業、海・浜空間利用者のマナー向上、水上オートバイ対策、海水浴場の開設、特定地域振興重要港湾館山港の整備・利用の促進

②観光の魅力を高める資源の活用

観光産業活性化支援事業、広域連携による観光プロモーション、インバウンド観光の推進、体験型ツーリズムの促進、グリーン・ブルーツーリズムの推進、観光施設管理事業

③ブランド化の推進

食のブランド化の推進、館山ふるさと大使等の制度による館山市のP R及び域内活動の活性化

④観光P Rの強化

観光イベント事業、観光情報の発信・P R

【R7末目標値 観光入込客数：230万人 宿泊客数：50万人】

2 館山市の観光施策の状況②

(3) 主な観光振興施策の取組

令和5年度実績

単位：千円

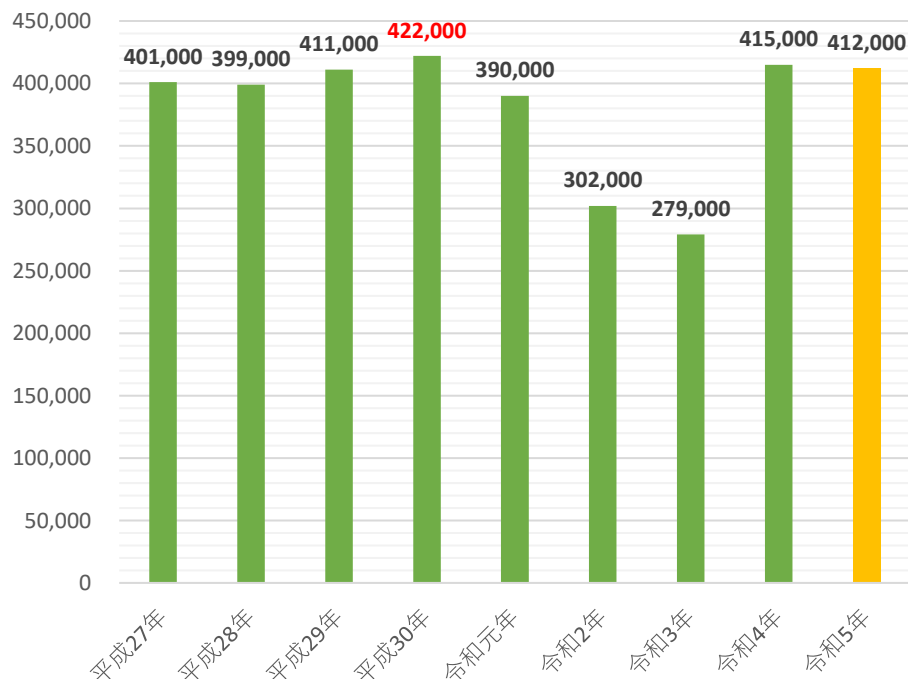
事業名	概 要	決算額
①定住自立圏構想事業	定住自立圏共生ビジョンにおいて、館山市観光協会及び南房総市観光協会が共同で実施する観光振興事業を支援	17,944
②観光振興事業	観光客誘致の宣伝や受入体制強化、体験観光推進を図るため、民間団体等の事業を支援（観光協会補助金・温泉事業組合補助金 等）	19,532
③観光振興事業（広域）	南房総地域の広域連携による観光振興事業及び観光プロモーションを支援（宿泊・滞在型観光推進協議会・南房総観光連盟 等）	1,401
④観光プロモーション事業	首都圏をはじめとする観光プロモーションのほか、台湾をメインターゲットとするインバウンド事業の推進	2,426
⑤観光イベント事業	各種観光イベントの実施のための経費の補助（館山湾花火大会・館山OWSフェスティバル・里見のまちづくり事業）	10,563
⑥海水浴場開設事業	市内4ヶ所の海水浴場の開設に伴う物品設置、安全確保、運営	18,570
⑦観光施設管理運営事業	来訪者受け入れのための観光施設の維持管理、花き植栽、清掃等の観光地美化（公衆トイレ管理・花き植栽・沖ノ島関連経費 等）	65,920
⑧“渚の駅”施設管理事業	交流拠点“渚の駅”たてやまの管理運営及び魅力向上	52,714
⑨港湾施設整備事業	千葉県が実施する港湾整備事業の費用の一部を負担	104,644
⑩みなと振興事業	客船等の誘致活動や受入環境の整備、海辺のにぎわい創出のためのイベントの実施	5,315
⑪その他の事業	マスコットキャラクター、新型コロナ物価高騰対策、事務経費 等	31,857

2 館山市の観光施策の状況③

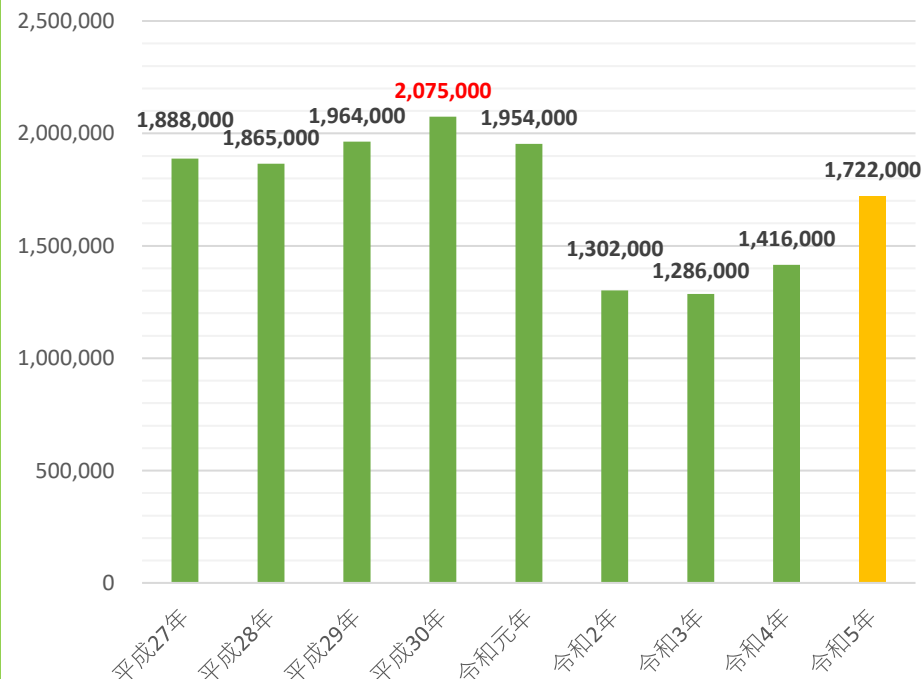
(4) 宿泊客数・観光入込客数

(館山市観光統計)

宿泊客数



観光入込客数



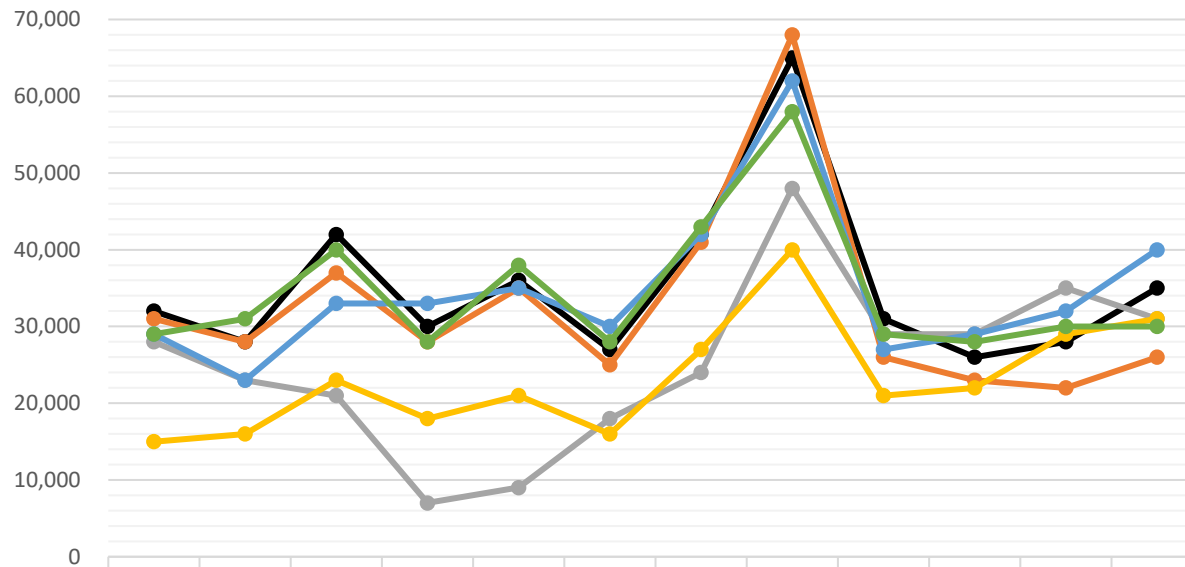
宿泊客数及び観光入込客数は年々増加傾向にあったが、令和元年房総半島台風及び新型コロナウイルスの感染拡大により減少。コロナ収束や観光需要喚起策などの影響で、宿泊客数は令和4年に平成30年比で98%まで回復し、令和5年もほぼ同水準を維持している。観光入込客数も回復傾向であり、令和5年は平成30年比で83%となっている。

(館山市観光統計)

2 館山市の観光施策の状況④

(4) 宿泊客数・観光入込客数

月別宿泊客数



月別宿泊客数は、各年とも8月がピークとなっている。

12月の年末年始や春を迎える3月、5月のGWも増加している。

令和5年の宿泊客数は、台風及びコロナ前の平成30年と比較して、8月は酷暑の影響などにより減少しているが、2月や10月、11月の秋の時期は増加しており、平準化傾向となっている。

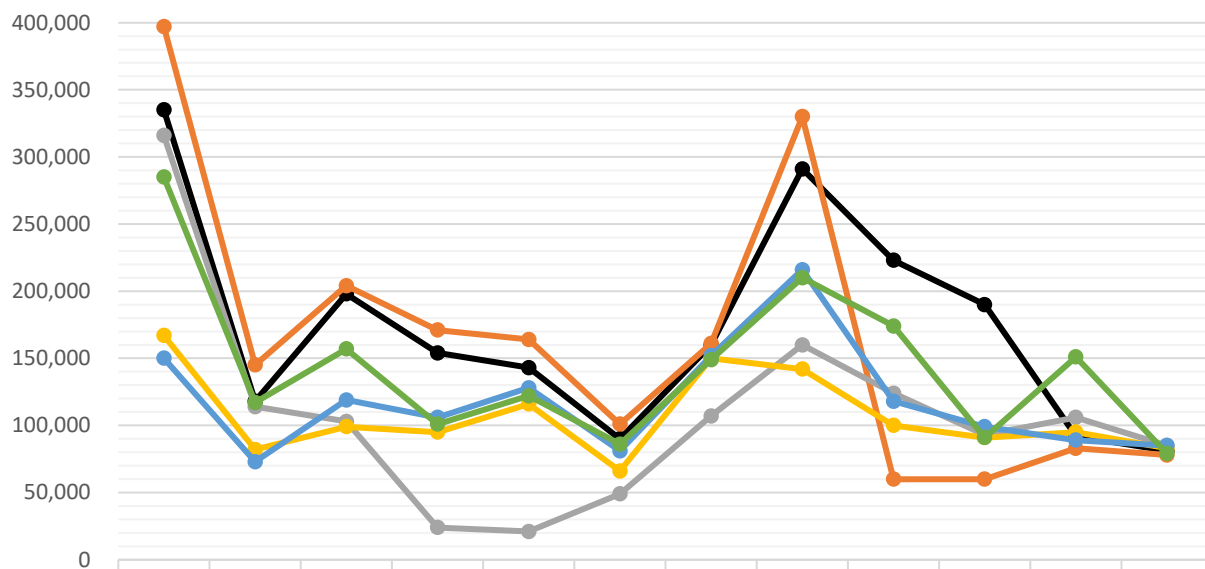
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
● 平成30年	32,000	28,000	42,000	30,000	36,000	27,000	42,000	65,000	31,000	26,000	28,000	35,000
● 令和元年	31,000	28,000	37,000	28,000	35,000	25,000	41,000	68,000	26,000	23,000	22,000	26,000
● 令和2年	28,000	23,000	21,000	7,000	9,000	18,000	24,000	48,000	29,000	29,000	35,000	31,000
● 令和3年	15,000	16,000	23,000	18,000	21,000	16,000	27,000	40,000	21,000	22,000	29,000	31,000
● 令和4年	29,000	23,000	33,000	33,000	35,000	30,000	42,000	62,000	27,000	29,000	32,000	40,000
● 令和5年	29,000	31,000	40,000	28,000	38,000	28,000	43,000	58,000	29,000	28,000	30,000	30,000

(館山市観光統計)

2 館山市の観光施策の状況⑤

(4) 宿泊客数・観光入込客数

月別観光入込客数



月別観光入込客数は、初詣やスポーツイベントなどが開催される1月と夏の8月の2つのピークとなっている。

令和5年の月別観光入込客数のグラフは、台風及びコロナ前の平成30年と同じような形となっているが、8月は酷暑の影響などにより減少している。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
● 平成30年	335,000	118,000	198,000	154,000	143,000	90,000	160,000	291,000	223,000	190,000	92,000	81,000
● 令和元年	397,000	145,000	204,000	171,000	164,000	101,000	161,000	330,000	60,000	60,000	83,000	78,000
● 令和2年	316,000	114,000	103,000	24,000	21,000	49,000	107,000	160,000	124,000	93,000	106,000	85,000
● 令和3年	167,000	82,000	99,000	95,000	116,000	66,000	150,000	142,000	100,000	91,000	95,000	83,000
● 令和4年	150,000	73,000	119,000	106,000	128,000	81,000	152,000	216,000	118,000	99,000	89,000	85,000
● 令和5年	285,000	117,000	157,000	101,000	122,000	86,000	149,000	210,000	174,000	91,000	151,000	79,000

(館山市観光統計)

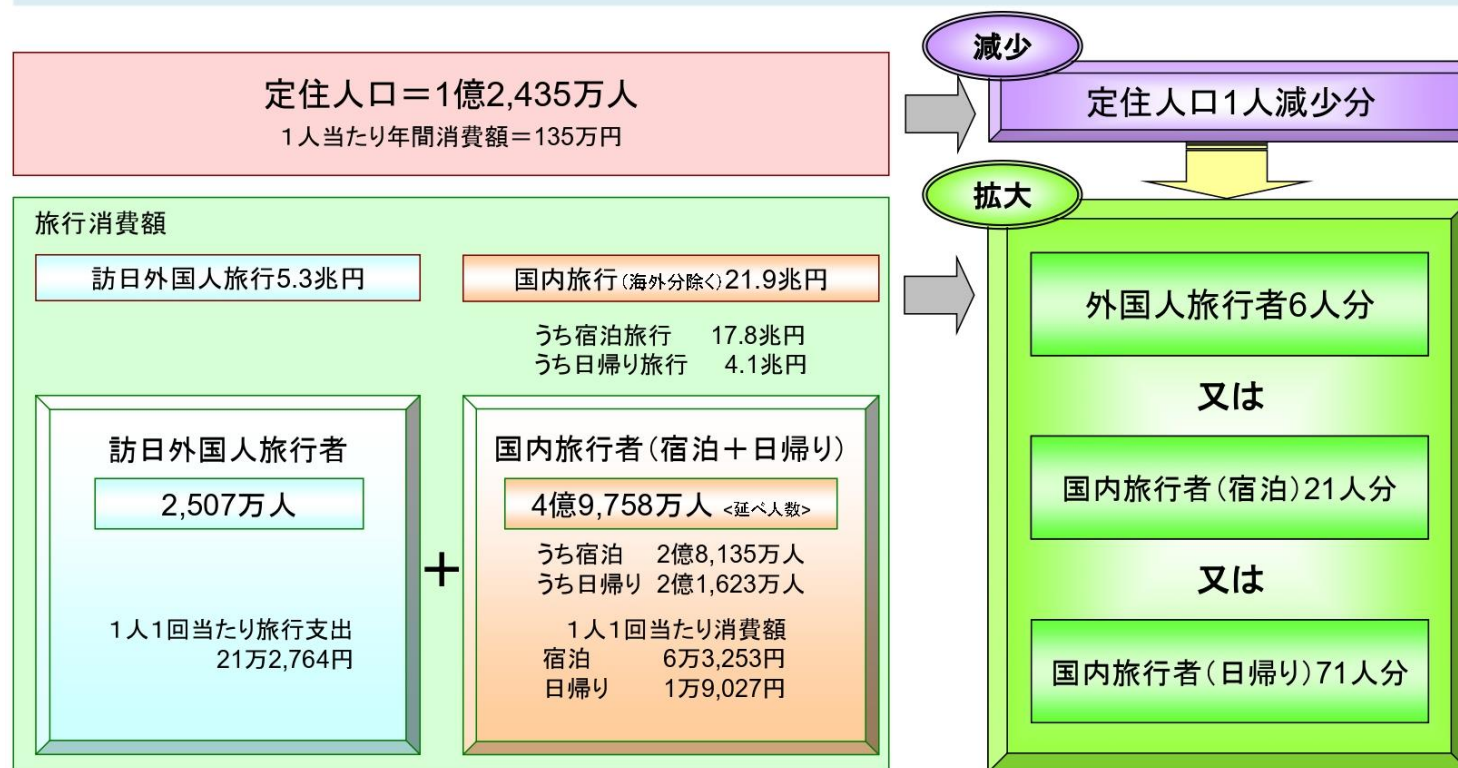
3 館山市観光振興の課題①

(1) 観光交流人口の経済効果

観光交流人口増大の経済効果(2023年)



- 定住人口1人当たりの年間消費額（135万円）は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者6人分、国内旅行者（宿泊）21人分、国内旅行者（日帰り）71人分にあたる。



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」、JNTO（日本政府観光局）「訪日外客数」、総務省「家計調査」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」にて観光庁推計

4

3 館山市観光振興の課題②

(2) 観光立国推進基本計画

観光立国推進基本計画(第4次)について(基本的な方針)



計画期間：令和5～7年度
(2023～2025年度)

- 観光はコロナ禍を経ても**成長戦略の柱**、**地域活性化の切り札**。国際相互理解・国際平和にも重要な役割。
- コロナによる変化やこれまでの課題を踏まえ、**2025年(万博開催)に向け**、我が国の観光を持続可能な形で復活させる。
- 「**持続可能な観光**」「**消費額拡大**」「**地方誘客促進**」をキーワードに、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。

取り組む3つの戦略

持続可能な観光地域づくり戦略

- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 観光DX、観光人材の育成・確保
- 自然、文化の保全と観光の両立等、**持続可能な観光地域づくり**

インバウンド回復戦略

- コンテンツ整備、受入環境整備
- 高付加価値なインバウンドの誘致
- アウトバウンド・国際相互交流の促進

国内交流拡大戦略

- 国内需要喚起
- ワークेशन、第2のふるさとづくり
- 国内旅行需要の平準化

目指す2025年の姿

※ 個別の施策については、主な内容を記載

- 活力に満ちた**地域社会**の実現に向け、**地域の社会・経済に好循環**を生む「**持続可能な観光地域づくり**」が全国各地で進められ、**観光の質の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口の拡大**がコロナ前より進んだ形で観光が復活している
- 万博の開催地である我が国が**世界的潮流を捉えた観光地**として脚光を浴び、「**持続可能な観光**」の**先進地**としても注目されている

13

3 館山市観光振興の課題③

(3) 観光振興の課題

項 目	内 容
①海をはじめとする自然などの恵まれた環境を活かした観光振興と観光資源の磨き上げ	海や里山などの自然を活かした観光や海産物をはじめとした食（グルメ）など、観光資源をさらに磨き上げ、来訪客の増加やリピーターの確保を目指し、観光消費の増加による地域経済の活性化を図る。
②インバウンド誘客の取り込み	増加する訪日外国人を呼び込むため、魅力ある観光コンテンツの造成や受入環境の整備、外国人向けの効果的な情報発信が必要である。
③観光まちづくり法人などの観光の舵取り役となる組織や専門人材の不足	持続可能な観光地域づくりのためには、行政や観光関連団体、宿泊施設や飲食店などの観光関連事業者、商工業や農林漁業、交通事業者や地域住民など、様々な地域関係者が一体となって観光に取り組む必要があり、その舵取り役となる専門的な組織が不可欠である。 また、データを分析し、ニーズに応じた戦略的な観光プロモーションの実施が必要である。